

金城学院大学広告研究会

活 動 実 績 調 書

(1) 活動名	瀬戸の広告物の制作
(2) 活動の目的・成果（※何を目指し、何が成果として得られたかについて記載）	
【目的】大学生ならではの視点から新しい瀬戸の魅力を発見し、瀬戸を PR する広告を制作することを目指します。また、実際に制作した広告を名古屋の大学生が目にする栄町駅や大曽根駅に掲載することで、若者にとって瀬戸が魅力のある町だとイメージ付けます。 【成果】ポスターの制作を通して、瀬戸の招き猫や窯垣の小径、瀬戸焼そばの歴史や魅力について知ることができました。また、実際に瀬戸市内を歩き、焼き物や陶磁器の街としての魅力にも触れることができました。 今後、瀬戸市や名古屋鉄道様などと連携し、今回のポスター制作が、女子大生だけでなく、瀬戸の歴史や伝統に興味のある人たちに、招き猫ミュージアム、窯垣の小径資料館、瀬戸焼そばを知っていただくきっかけになることを願っております。	
(3) 活動の実施内容（※活動の実施方法、時期、場所、回数、市民等への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載）	
《実施方法》瀬戸市内のフィールドワーク 瀬戸市の観光課様にお話をききアドバイスを頂く、 分析・会議、広告物の制作 《実施時期》 8 月：ヒアリング（瀬戸市観光課様） 9 月：ヒアリング内容整理 10 月：コンセプト決定 11 月上旬：撮影 11 月下旬～1 月下旬：ポスター制作 《実施場所》金城学院大学 《実施回数》フィールドワーク 3 回程度、会議+制作 10 回程度 《周知方法》 名古屋鉄道様と連携した名鉄の駅でのポスター掲載 本大学ホームページでの掲載 SNS での周知投稿（Twitter、Instagram、Facebook） 《参加人数》5 名	
(4) 活動実施上の工夫（※活動の趣旨・目的達成のため、特に創意工夫した点について記載）	
8 月にポスターテーマを決める際、瀬戸市の観光課の方にヒアリングを行ったことを元に部員で話し合いを行い、今まで国内の観光客の方に向けたポスターを制作していたが、今年は国外の観光客の方にも焦点をあてていきたいと考えました。 取材する人や場所によって担当を決め少人数のグループで制作しました。キャッチコピーに込められた意味からそのポスターの場所に興味をもってもらえるようなものにした他に、学生らしくユーモアな作品で瀬戸の魅力を伝えることができるよう制作しました。	

（５）活動実施上の反省点（※具体的な反省点等について記載）

今年度は昨年度に比べてプロジェクトの参加人数が少なく、撮影場所が増えたこともあり、昨年度に比べて、全体の活動の動きが遅くなってしまいました。そのため、期日までにポスター印刷ができませんでした。来年度以降は参加人数や撮影場所などを考えてスケジュールの調整を行い改善致します。